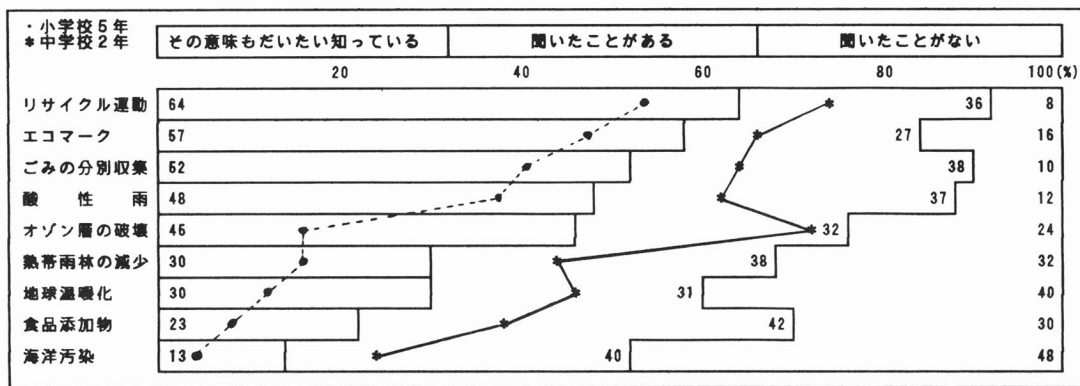
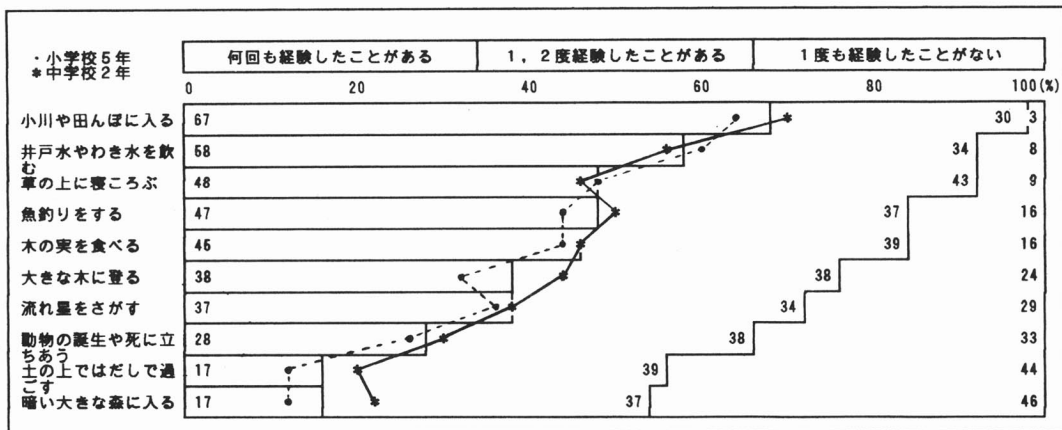


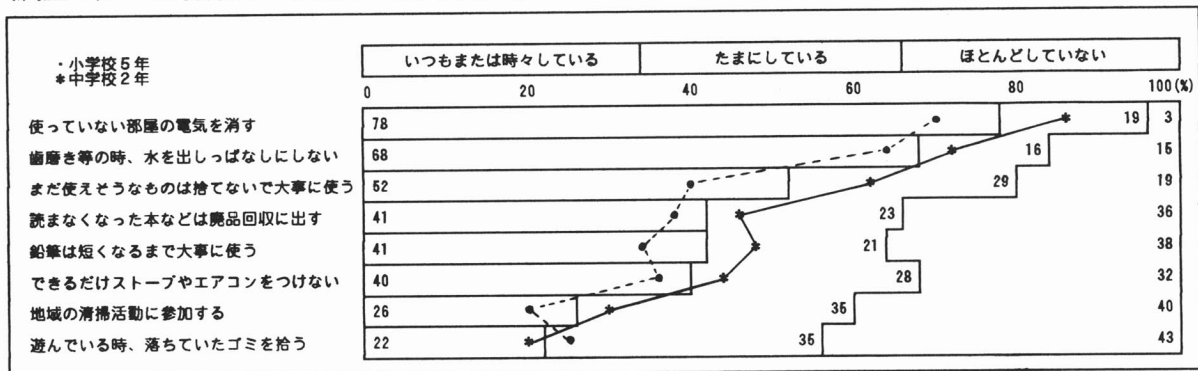
<調査1> 環境に関する知識量



<調査2> 自然体験量



<調査3> 環境保護に配慮した生活体験量



めた。このことから児童生徒の意識が生活の範囲にとどまり、それ以上に広がっていないことが伺える。環境教育では、日常生活から地球全体へと考えを広めていくような指導を、継続してできるようにしたい。

また小学校5年生と中学校2年生を比較すると

すべての項目で中学2年生が小学5年生を上回っている。特に「オゾン層の破壊」では50%以上の差となっている。これは、この問題を理解するには学習の積み重ねによって、かなり専門的な知識が必要とされるためであり、学習の効果が表れたものと思われる。